

74 ミツユビカモメ

(チドリ目)

Rissa tridactyla

兵庫県ランク:要調査

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道と本州中・北部では冬鳥、本州南西部、四国、九州、沖縄では不定期な渡来とされる。兵庫県では主に12-翌3月に記録がある。外洋に生息するため海岸で観察される機会は少ない。主に魚類を採食する。

写真なし

国内分布

北海道、南千島、本州北・中部、本州南西部、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、男女群島、伊豆諸島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

明石市、(西宮市)、(洲本市)、(豊岡市)、加古川市、(赤穂市)、(淡路市)



主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性		
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性の 低下	特殊 競争圧	特殊 捕食圧	特殊 繁殖環境	特殊 採餌環境	ね特殊 ぐら休息 環境・	局地的 繁殖	希 少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

県南部と県北部の沿岸で単独または5-7羽の群れが稀に記録されているが、個体数、観察例ともに極めて少ない。ただし、外洋に生息しているため、その実態はよくわかっていない。

保護上の留意点

海洋における分布および生息に関する調査が必要。また、餌となる魚類の生息環境である藻場の保全および再生が重要。